

Software Development Business Report

第53期 報告書

2022年1月1日▶2022年12月31日



CONTENTS

What's!?! ISB

アイ・エス・ビーグループ理念体系
アイ・エス・ビーグループの事業領域

ごあいさつ

連結分野別業績

連結財務情報

2023年度 業績見通し(連結)

会社概要／株式の状況

株主様向けアンケート結果ご報告

裏表紙のアンケートにご協力ください

What's!? ISB

アイ・エス・ビーグループ理念体系

アイ・エス・ビーグループ企業理念

夢を持って夢に挑戦

私たちアイ・エス・ビーグループは卓越した技術と魅力ある製品・サービスで心豊かに暮らす笑顔溢れる社会づくりに貢献します。

時代の変化に適応し、知恵とITの融合により、未来を切り拓く新たな価値を創造します。

誇り 誠実 挑戦

誇り

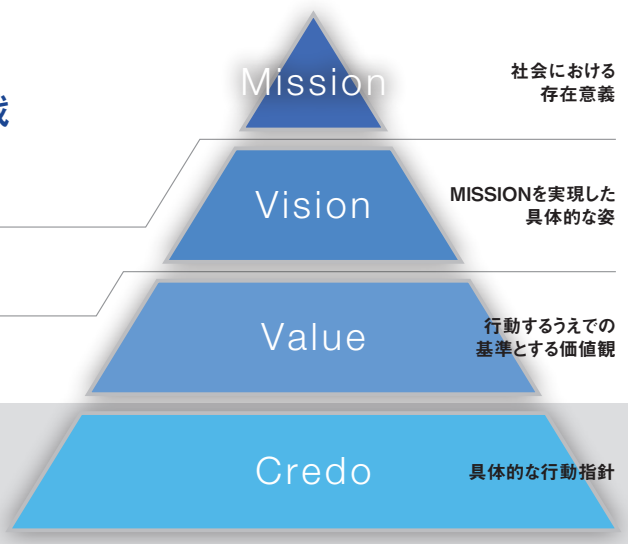
プロフェッショナルとして、自らが技術とアイデアを磨き続け、成長するとともに企業の発展を通じて社員の健康と家族の生活を応援します。

誠実

お取引先様と常に誠実に向き合い、あらゆる期待に応える解決策を提案します。ガバナンスとリスクマネジメントを徹底し、透明性の高い経営に努めます。

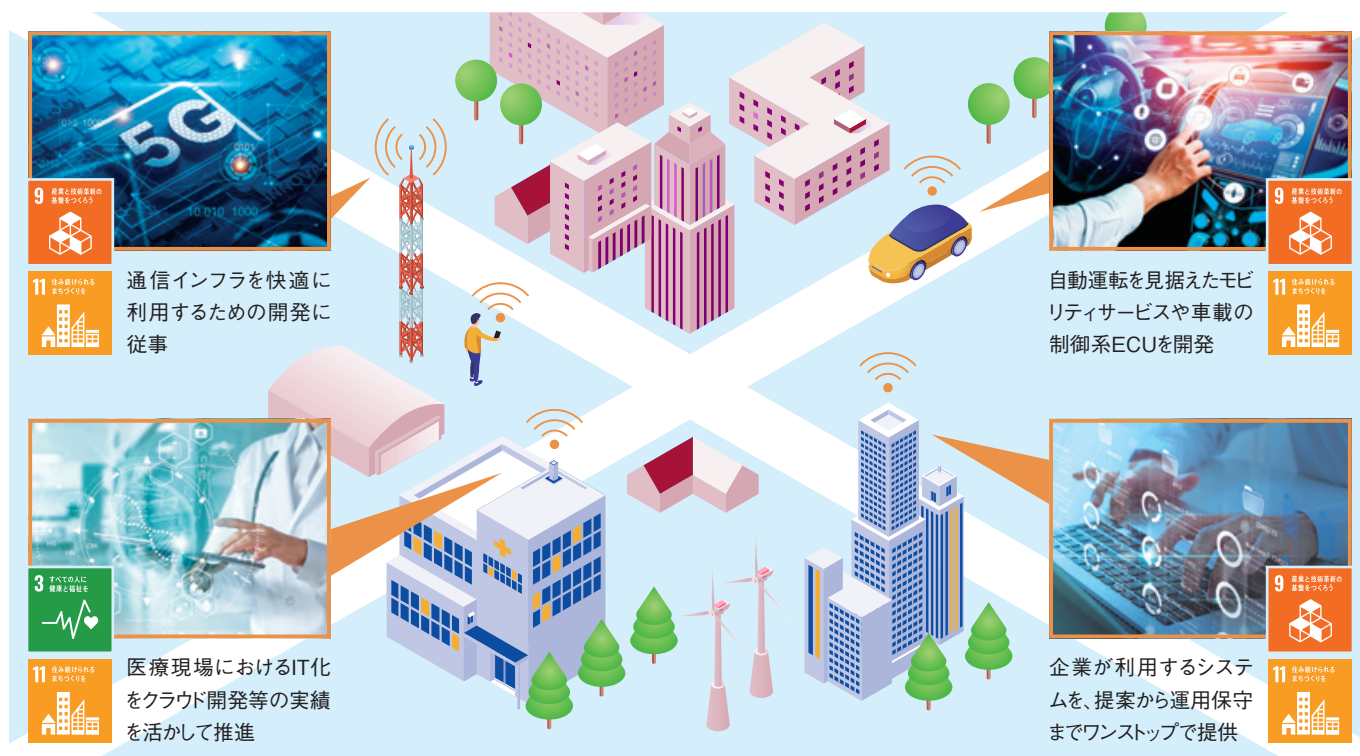
挑戦

夢のある未来へ向けて、新たな価値の創造に情熱をもって取り組み、進化し続けます。



アイ・エス・ビーグループの事業領域

当社グループの製品・サービスは、身近なところで社会課題の解決に貢献しております



モビリティソリューション

モバイルインフラ、移動無線端末・基地局に関わるシステム、車載などの組み込み系システム

エンタープライズソリューション

官庁・自治体、金融系企業向けシステム、ITインフラに関わるシステム

ビジネスインダストリーソリューション

民間企業向けシステム、医療・産業機器などの組み込み系システム

プロダクトソリューション

ALLIGATE(入退室管理システム)、VECTANT SDM(モバイルデバイス管理)

ソリューション事業・プロダクト事業の詳細はHPでご確認いただけます。

ソリューション事業ページ

<https://www.isb.co.jp/solutions/>



プロダクト事業ページ

<https://www.isb.co.jp/products/>





代表取締役社長
若尾 一史

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第53期(2022年1月1日から同年12月31日まで)の事業概要をご報告し、あわせて第54期の取り組みについてご説明いたします。

昨年は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のワクチン接種や各種政策等により社会経済活動の正常化に向けた動きが見られました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化、エネルギー情勢等の影響により、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、中期3か年計画「新しい一歩～move up further～」に取り組み、当連結会計年度の連結業績は、過去最高を更新し、第53期末の配当金を40円といたしました。

一方で昨年、当社グループ会社の株式会社スリーエスで不適切な取引が発覚いたしました。この度は、株主の皆様および関係者の皆様にご心配とご迷惑をおかけし、大変申し訳ございませんでした。

特別調査委員会が認定した事実と再発防止策の提言を真摯に受け止め、再発防止策を講じ、実効的なガバナンスの構築およびコンプライアンスの強化に取り組んでまいります。

株主の皆様には、今後とも何卒、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

対談インタビュー



事業本部長
兼DX推進室長

小笠原 芳市

代表取締役社長 若尾 一史

中期経営計画2023の進捗と事業本部が果たす役割

—— 中期経営計画2023における3つの重点戦略の概要と進捗をお聞かせください。

若尾 重点戦略1つ目の「顧客開拓、有望分野の拡大」は、営業力と技術力の強化による事業全体の拡大です。進捗としては、30年超の取引がある大和証券グループの業務拡大に向けた動きが進みました。車載や5G関連といった成長分野での受注も拡大しています。

重点戦略2つ目の「ソリューション事業の創出」は、高度なソリューション提供によるプライム案件の獲得で、これを事業の新たな柱として掲げています。当社独自のソリューション提案はもちろん、他社の製品・サービスと連携した高付加価値ソリューションの提案も行ってプライム案件を増やしています。その一例として、システム開発からハードウェアの提供、保守・運用、ヘルプデスク機能(コールセンター)までワンストップでソリューションを提供したキンコ

ーズ・ジャパン全国40店舗への新POSシステム導入があります。

重点戦略3つ目の「グループ経営強化」は、事業におけるグループシナジーの最大化と採用や技術教育を含めたグループ全体の管理業務効率化です。事業面では事業分野と得意とする技術が異なる各社の連携を進めるとともに、当社と地域拠点を有する国内グループ会社や海外のグループ会社によるリモート開発を推進することで、グループ全体の開発力・提案力を高めています。

小笠原 この中期経営計画を達成していく上で課題となっていたのが営業力でした。市場の変化に対応できる強固な営業力を発揮していくために、中期経営計画がスタートした2021年に、それまでは8つの事業分野で構成していた事業セグメントを4事業分野に集約し、事業本部が統括する事業体制にしました。営業力を高める体制を整えたことが、中期経営計画の順調な進捗につながっています。

ISBグループ中期経営計画2023の進捗状況

方針

新しい一歩～move up further～

新生ISBグループ創出に向け、
今までの50年の更なる進化と新たな領域への挑戦で
より多くのお客様にソリューションを提供できる企業を目指す。

重点 戦略

1. 顧客開拓、有望分野の拡大

提案営業強化のための体制構築により
有望分野の5G関連、車載、モビリティサービス、
医療、業務サービスに注力

2. ソリューション事業の創出

ソリューションパートナーとの連携及び、
共同開発から、高付加価値ソリューションの提供により、
プライム案件を獲得

3. グループ経営強化

首都圏の受注案件に対し全国のグループ会社の
地域拠点においてリモート開発を推進
人的資本への投資として採用や社員育成を強化

—— 4つの事業分野の概要と取り組みについてお聞かせください。

小笠原 「モビリティソリューション」は、車載、モバイルインフラ、
移動無線端末・基地局関連システムなど組み込み開発全般が主
な事業内容です。「ビジネスインダストリーソリューション」は、民間

企業向けシステム、医療・産業機器などの組み込みシステムの受
託開発に加え、その分野におけるプライム案件も行う事業部です。
いわゆる大手SIerと比べても遜色のないトータルサービスの提供
を目標にしています。「エンタープライズソリューション」は、官庁・自
治体、金融系企業向けシステムという分野になります。「プロダクト
ソリューション」は、セキュリティや医療など、様々な分野に向けたシ
ステムやモジュール、デバイスによりサービスを提供しています。

また、4つの事業分野での取り組みを推進しながら、当社が長
年培ってきた受託開発についても引き続き技術力を向上させ、そ
の中からコンサルティングや新たなサービス、リカーリングビジネス
に発展させることにも注力しています。

若尾 EVをはじめ、コネクテッドカーやカーシェアリングなど、自動
車の概念が変わっていく中で、車載をキーワードにしたモビリティ
分野での拡大も目指していきたいと考えています。ビジネスインダス
トリーソリューションは、プライム案件をより多く獲得すべく強化して
いきます。エンタープライズソリューションは、業界知識と業界に特
化した技術を磨いて、好調な金融分野をさらに深掘りしていきます。
プロダクトソリューションは、今後も様々な製品を開発し、提供して
いきますが、当社のブランド力の向上に結びつく製品を創出してい
きたいと考えています。

グループ全体の成長を推進する確固たる技術を追求

—— 今後のグループも含めた事業展開についてお聞かせください。

若尾 グループ会社には当社の情報サービス事業分野を行って
いる会社もあれば、まったく異なるセキュリティ事業分野の会社も
あり、様々です。国内の地域拠点や海外が拠点の会社もあります。
得意とする技術や事業分野も異なります。ここで重要なのは、当
社が主体となりながら、グループ各社の強みを各々が認識し、それ
らの連携でシナジー効果を発揮しながら成長に向けて一体となっ
た動きをしていくことだと考えています。

事業本部にはそうしたグループ全体を成長させる技術のトップ
ラインを打ち立ててもらうことを期待しています。

小笠原 当社には独自の技術やノウハウがあります。例えば、IoT
構築で重要な役割を担う無線通信のWi-SUNもその一つで、当
社は研究開発の段階から関わっており、ノウハウと提案力につい
て他社とは一線を画します。また、医療系システムの開発について
お声掛けが多い理由の一つに、当社製品の中に薬機法を取得し
ている製品を有していることがあります。医療に関係するIT企業は
多数存在しますが、薬機法まで自社で取得するケースは極めて稀
で、医療系のお客様から高い信頼をいただいています。事業本部
ではこうした確固たる技術を常に追求し、グループ全体の成長を
牽引していきたいと考えています。

そして、クラウドやIoT、車載など、期待できる分野は多々ありま
すが、それらの中でも特に注力していきたいのがクラウドです。クラ
ウド技術者の育成と技術構築を進め、クオリティの高いクラウド・ソ
リューションの提供を目指します。

—— 人的資本、サステナビリティへの取り組みをお聞かせください。

小笠原 採用に関してですが、高専生全体で27名(内国立高

専生22名)を採用し、日本経済新
聞の「2022年春入社 国立高専
生の就職先ランキング」で大手企
業が並ぶ中、25位に入りました。
独自のeラーニングなど教育・研
修制度を充実させて、技術者の
採用と育成を行っています。

若尾 一昨年の社長就任後から当社とグループ会社の従業員
と直接交流するランチ会とタウンホールミーティングを行い、様々
な本音を吸い上げ、従業員エンゲージメントの向上に努めていま
す。経営面では社外取締役の半数となる新任2名は女性で、多
様な価値観を経営に取り入れる取り組みも行っております。このよ
うなサステナビリティ経営の推進により当社は提供するソリューシ
ョンを通じ、社会課題の解決に貢献していきたいと考えています。

—— 最後に、読者の皆様へのメッセージをお願いします。

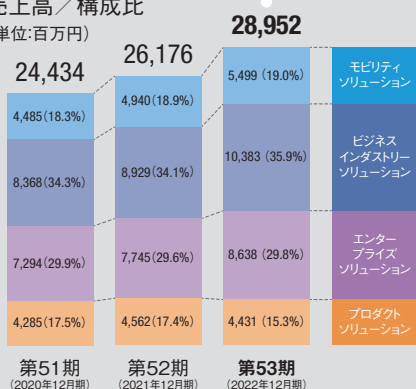
小笠原 現在は、プライムのお客様が増えることで、受託開発や
製品の品質を追求する「ものづくり」の領域を基盤に、「ものづく
り」+「サービス」の領域に拡張しています。事業本部としては、こ
のサービスを強く意識した事業展開で、より魅力的なソリューション
をお客様と社会に提供していきたいと考えています。

若尾 当社のグループ企業理念体系の中で、私たちは「誇り・
誠実・挑戦」を当社のValueとして掲げており、お声掛けいただ
いた案件・課題の解決のため、あらゆることに誠心誠意尽くしてきま
した。今後も卓越した技術と魅力ある製品・サービスで、豊かな社
会づくりに貢献していきます。



連結分野別業績

売上高／構成比
(単位:百万円)



モビリティ
ソリューション

5,499百万円
前期比111%

ビジネスインダストリー
ソリューション

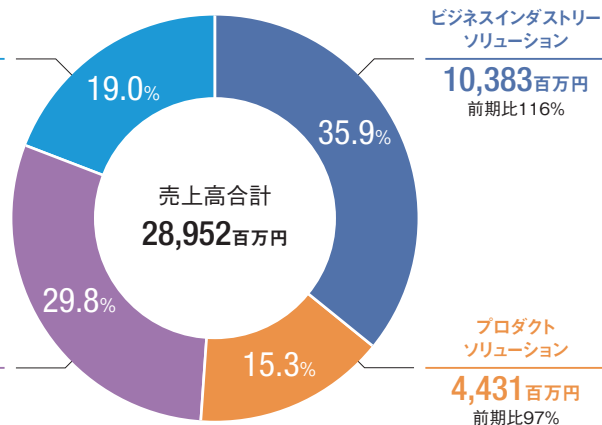
10,383百万円
前期比116%

エンタープライズ
ソリューション

8,638百万円
前期比111%

プロダクト
ソリューション

4,431百万円
前期比97%



モビリティ ソリューション

▶ 業績見通し

【モバイルインフラ】

5G関連のピークアウトにより、他の通信系組込み案件への取り組みを推進。

【車載】

前期より継続して受注拡大が見込まれるほか、新規に車載用OS関連の受注拡大を狙う。

【移動無線端末】

端末系は縮小見込み。モバイルOS技術を活かした案件へのシフトを推進。

▶ サービス紹介

車載分野では、Autonomous(自動運転)として、メータークラスターパネルにおける前方車両や白線の認識状況など、自動運転に関する情報を表示させる機能の開発を行っております。他にも、Electric(電動化)においては、モーター駆動制御、Connected、Shared & Serviceにおいては、充電スタンド予約サービスの開発などを進めています。

ビジネス インダストリー ソリューション

▶ 業績見通し

【組込み開発】

IoT関連のシステム開発、AV機器や家電のシステム開発の受注増加見込み。AI関連業務やデバイス関連の新規受注を計画。

【業務システム】

DX需要により基幹システム刷新等のニーズに対応するプライム案件に注力し、受注増加見込み。

▶ サービス紹介

医療システムの一例をご紹介します。

院内の患者データ(診断情報や画像データ等)を統合管理し、PCやタブレットから医療従事者が閲覧するための院内システムや、画像診断装置の検査結果を2D・3D画像として表示する機能、操作画面制御のソフトウェア開発など医療機関の活動を支援するシステムを開発しております。

エンター プライズ ソリューション

▶ 業績見通し

【金融・公共】

引き続き、証券系の主要顧客から案件受注拡大見込み。公共系の業務は、新規顧客の受注拡大を狙う。

【ITインフラ】

インフラ構築事業は半導体供給の回復が進み、機器更新を伴う大型案件の再開やクラウド環境への移行案件を中心に受注拡大を狙う。

▶ サービス紹介

証券システムの事例をご紹介します。

窓口で伺ったお客様情報をタブレット等に入力し、一括管理するシステムや証券会社様—証券取引所間の取引で利用されるシステム、取引結果を速やかに株主様の口座情報に反映させるシステムなど、株式・債券等の売買に関わる様々なシステムの開発・保守を行っております。

プロダクト ソリューション

▶ 業績見通し

【セキュリティシステム事業】

部品供給は回復基調だが、引き続き、半導体不足の影響を受けない製品群の販売を推進。またリカーリングビジネスの収益の更なる伸長により増益を見込む。

【MDM事業】

セキュリティ強化やキitting等の顧客ニーズに応えるサービス向上により増収見込み。

▶ サービス紹介

VECTANT SDMIは、クラウド型MDMサービスです。

紛失・盗難時の場所の特定や遠隔ロック、アプリやファイルの一斉配信などが可能です。企業以外にも、自治体から保育園などのタブレットへ防犯情報等を配信するサービスに利用されるなど、様々なシーンで活用されております。

ALLIGATEとともにリカーリングビジネスに今後力を入れてまいります。

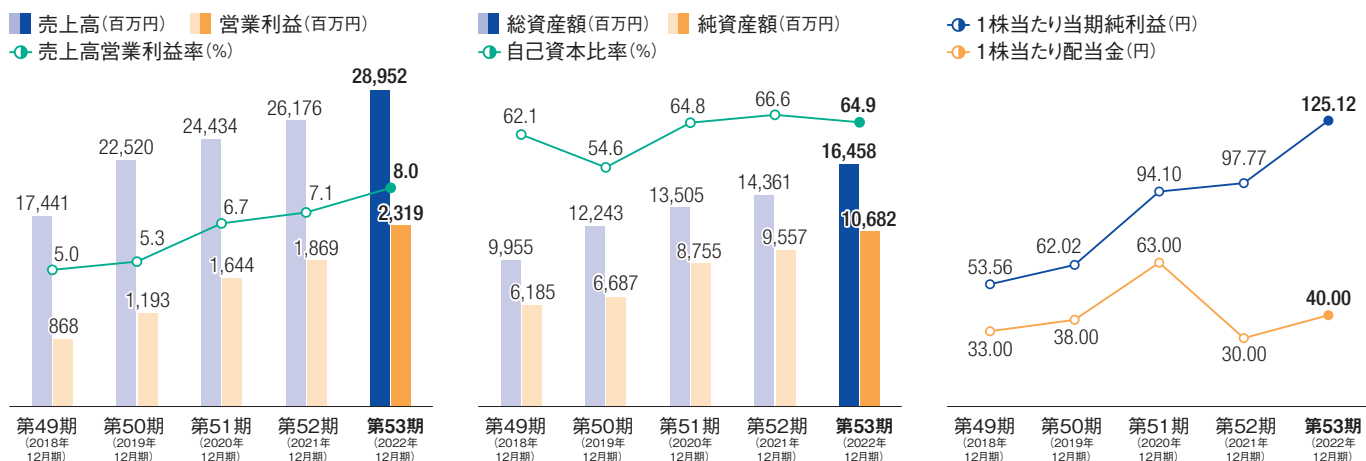
連結財務情報

株主・投資家向け情報 www.isb.co.jp/investor-relations/

		第49期 (2018年12月期)	第50期 (2019年12月期)	第51期 (2020年12月期)	第52期 (2021年12月期)	第53期 (2022年12月期)
売上高	百万円	17,441	22,520	24,434	26,176	28,952
営業利益	百万円	868	1,193	1,644	1,869	2,319
売上高営業利益率	%	5.0	5.3	6.7	7.1	8.0
経常利益	百万円	917	1,227	1,712	1,940	2,401
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	546	633	994	1,110	1,423
純資産額	百万円	6,185	6,687	8,755	9,557	10,682
総資産額※	百万円	9,955	12,243	13,505	14,361	16,458
自己資本比率	%	62.1	54.6	64.8	66.6	64.9
1株当たり当期純利益※	円	53.56	62.02	94.10	97.77	125.12
1株当たり配当金	円	33.00	38.00	63.00	30.00	40.00
配当性向	%	30.8	30.6	33.5	30.7	32.0
自己資本利益率	%	9.1	9.8	12.9	12.1	14.1
株価収益率	倍	14.4	16.2	16.3	10.4	9.0

※『税効果会計に係る会計基準』の一部改正を第50期より適用しており、第49期以前の総資産額については、遡及後の数値となっております。

※当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、第49期(2018年12月期)の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。



2023年度 業績見通し(連結)

売上高
300億円
(前連結会計年度比 3.6%増)

営業利益
24億円
(前連結会計年度比 3.5%増)

経常利益
24億30百万円
(前連結会計年度比 1.2%増)

親会社株主に帰属する当期純利益
14億40百万円
(前連結会計年度比 1.1%増)

1株当たり配当金
38円

会社概要／株式の状況

株式の状況 (2022年12月31日現在)

発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	11,388,716株
株主数	4,926名

大株主情報

株主	当社への出資状況	
	所有株式数 (株数)	持株比率 (%)
有限会社若尾商事	2,001,400	17.57
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,238,900	10.87
アイ・エス・ビー・グループ従業員持株会	501,500	4.40
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	338,000	2.96
若尾一史	287,358	2.52
鈴木育夫	190,600	1.67
株式会社第一情報システムズ	180,000	1.58
ROYAL BANK OF CANADA (CHANNEL ISLANDS) LIMITED - REGISTERED CUSTODY	160,000	1.40
株式会社KSK	123,200	1.08
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	109,437	0.96

会社情報 (2023年3月30日現在)

社名	株式会社アイ・エス・ビー ISB CORPORATION
設立	1970年(昭和45年)6月
資本金	23億6,151万円
従業員数(連結)	2,356名(2022年12月31日現在)
役員	代表取締役会長 若尾 逸雄 代表取締役社長 若尾 史一 取締役 竹田 陽一 取締役 関本 祥文 取締役 小笠原 芳市 取締役 牧田 甲希 取締役(常勤監査等委員) 久世 慎一 社外取締役(監査等委員) 渡邊 芳樹 社外取締役(監査等委員) 浅井 清孝 社外取締役(監査等委員) 清水 希 社外取締役(監査等委員) 佐藤 香代
本社	〒141-0032 東京都品川区大崎5-1-11 住友生命五反田ビル TEL 03-3490-1761(代表) FAX 03-3490-7718
事業所	我孫子、五反田、新横浜、三島、甲府、名古屋、大阪

グループ会社

株式会社エス・エム・シー	システム構築保守、運用サービスなど、顧客のビジネスを支援するITサービスを提供。
株式会社アイエスピー東北	仙台を中心に、産学官共同開発など、地元に着実した事業を展開。
ノックスデータ株式会社	長年培った品質を強みとし、スピード感を持ってソフトウェアを開発。
株式会社スリーエス	ソリューション事業・ソフトウェア開発事業を展開。首都圏などからの受注も推進。
株式会社アート	業界のバイオニアとして入退室管理システムなどのセキュリティ関連製品の開発・販売。
アートサービス株式会社	アート製品の修理・保守サービスを提供。
コンピュータハウス株式会社	技術力や想像力を背景とした質の高いITサービスの提供。
株式会社テイクス	IT技術者の育成を強みに、関東圏内を中心に事業所を展開し、システム開発支援事業を営む。
ISB VIETNAM COMPANY LIMITED	海外リモート開発で、高品質かつ適正価格のサービスを提供。

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	12月31日
中間配当金受領株主 確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
公告の方法	電子公告により行う公告掲載URL https://www.isb.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内



IR情報や当社に関する最新動向をお伝えしております。



株主様向けアンケート結果ご報告

当社では株主の皆様との対話を重視し、その一環として皆様からのご意見を伺うため株主様向けアンケートを実施しております。

昨年は全株主様の10.4%にあたる592名の株主様からご回答をいただきました。

アンケートにご協力いただきました株主様に厚く御礼を申し上げますとともに、皆様の貴重なご意見を今後の経営やIR活動に活かしてまいります所存です。

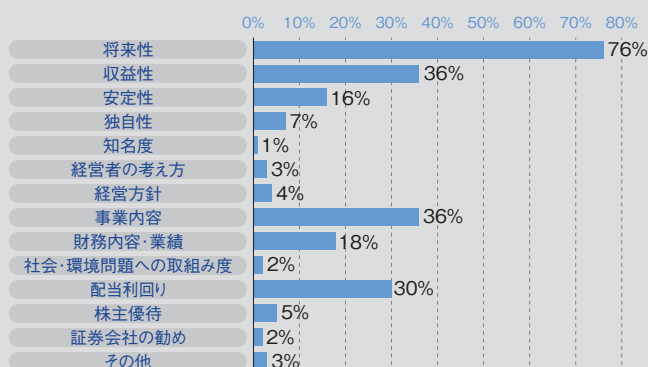
ここにご回答いただいた内容の一部をご紹介します。

尚、当社ホームページには全問の回答結果を掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

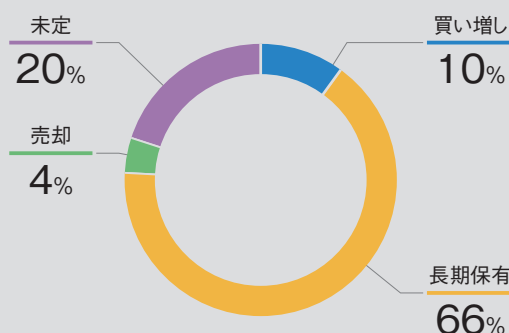
<https://www.isb.co.jp/newsroom/data/pdf/release20220830.pdf>



あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。(いくつでも)



あなたは当社株式に対してどのような方針をお持ちですか。



株主様からのご意見

- ビジネスレポートの「連結分野別業績」で、現状でも概要は分かり、かつレイアウトも優れていますが、例えば発行ごと順繰りに4つのソリューションから一つずつクローズアップして深掘りした説明を加えていくコーナーがあれば、より株主の理解が深まるのではないかと思います。
- FAEとかプライム案件とかあまり聞きなれない用語は、簡単な解説がほしい。
→ 上記のご意見などを踏まえ、本誌面の4ページにて事業分野ごとの具体的な事例を記載いたしました。今後も分かりやすく当社グループの事業・魅力を伝えてまいります。
- 自動運転のモビリティサービスや医療現場におけるIT化のさらなる事業推進に期待したいです。
- これからの社会の発展にマッチしている事業であることや、サステナビリティに対する積極的な取り組みを行っていることなど、これからの会社の発展に期待しています。
- 時代のニーズに適応し、着実に業績を上げているところと堅実経営に魅力を感じる。
- 情報産業の会社として、常に日本でも世界でも活躍出来る会社として頑張ってください。ずっと株式を持っていたい・買い増したいと思える会社になってもらいたい。ISBを応援したいと思えるように、頑張ってください。
- 堅実な財務内容、着実な事業の成長と領域拡大、連続増配に期待しています。長く保有したい。まずは中計の進捗などみていきたいと思っています。



〒141-0032
東京都品川区大崎5-1-11 住友生命五反田ビル8F
TEL : 03-3490-1761
FAX : 03-3490-7718

<https://www.isb.co.jp/>



株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。
(所要時間は5分程度です)

① 下記URLにアクセス

② アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 9702

……以下の方法でもアンケートにアクセスできます……



検索窓から



kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信

「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。



スマートフォンから
カメラ機能でQRコード読み取り→

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝 (QUOカードPay500円) を進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

アンケートのお問い合わせ

「e-株主リサーチ事務局」
MAIL: info@e-kabunushi.com

(2201)